

# インタビュー 止めよ!の気候危機

持続可能な地球社会の実現を

本来梅雨の6月に37度の猛暑日。昨年の東京でのことです。読者の皆さんもこの何年かの暑さを「ただごとでない」と感じていませんか。地球温暖化の影響で、世界中で自然災害が続発しています。今、何が起きているのか、私たちにできることは何か。NGO気候ネットワークのプログラム・コーディネーター、森山拓也さん、小畑あかねさんに昨年12月6日にお話をうかがいました。

## 災害は50年で5倍化

### 大洪水、渇水、熱中症も多発

—今、気候危機によるどのような損失や被害が起きているのでしょうか。  
大雨が降り、大洪水が発生、国土の3分の1が水没し、300万人がその影響を受けました。南スーダンでは国土の半分が水没するということがありました。アメリカやカナダでは2021年に大規模な山火事が発生しました。欧州では、2022年にな

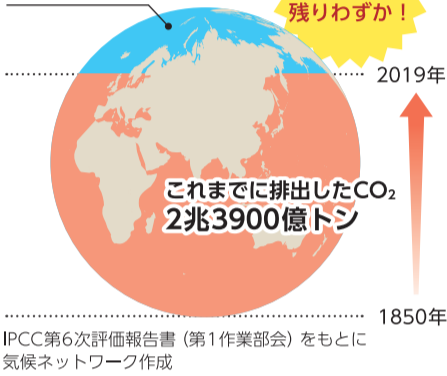


COP27の最終日11月18日に、国会前で「脱石炭をお急ぎください」と声をあげる市民のアクション

### 残された時間は少ない

カーボンバジェット概念図 (67%の確率で気温上昇を1.5℃に抑える場合)

今後のCO<sub>2</sub>排出量上限 4000億トン



IPCC第6次評価報告書(第1作業部会)をもとに気候ネットワーク作成



右から小畑さん、森山さん

気候ネットワーク…1998年設立。原発も温暖化もない未来のため、専門的な調査や政策提言、情報発信、先進事例づくりを行なっている <https://www.kiconet.org/>

—日本での気候危機の事例はどうですか。  
森山さん—記憶に新しいところでは、昨年の6月下旬から7月に記録的な猛暑があり、東京でも9日連続の猛暑日でした。またここ数年、台風や豪雨災害が頻発しています。線状降水帯というこれまで聞かなかった言葉がしばしば聞かれるようにもなりました。熱中症による死者がものす

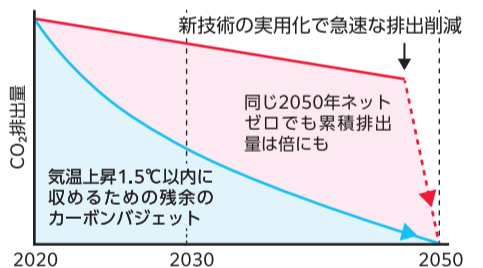
### CO<sub>2</sub>が原因 1.5度抑制

—気候危機の原因をわかりやすく教えてください。  
森山さん—地球の平均気温が上がっている、地球温暖化です。産業革命以降、人類が化石燃料を大量に燃やすことでCO<sub>2</sub>が排出されるようになり、産業革命以前より地球の

## 化石燃料使用減らす 建物の断熱化で省エネも

—今すぐできる対策はありますか。  
小畑さん—都市では省エネです。とにかく使用するエネルギーを減らすことです。日本では一次エネルギーの85・5%が化石燃料です。エネルギーを使えば使うほど、化石燃料

### 2030年中間目標の重要性



赤線: 2050年にネットゼロであれば良いという先延ばしシナリオ  
1.5℃目標は達成できない。対策を先延ばしにするほど残りの期間に急激な対応が必要となり、社会的負担も大きくなる。  
青線: すぐに排出削減に取り組むシナリオ  
1.5℃目標の達成に不可欠な道筋。排出削減と脱炭素経済への公正な移行によるソフトランディングが可能になる。  
国連資料等をもとに気候ネットワーク作成

—気候危機の原因をわかりやすく教えてください。  
森山さん—地球の平均気温が上がっている、地球温暖化です。産業革命以降、人類が化石燃料を大量に燃やすことでCO<sub>2</sub>が排出されるようになり、産業革命以前より地球の

### 再エネ転換に 消極的な日本

—日本の再生可能エネルギーへの転換の遅れについて説明してください。  
森山さん—東日本大震災以降ある程度、再エネへの移行は

## 危機に声あげよう 国策変える身近な行動を

—このような状況で、私たち市民はどのようなことをしていきべきなのでしょう。  
森山さん—一人一人が気候危機に対して声をあげることが大切です。エアコンの設定温度を下げるとかが言われますが、それだけでは気候危機は回避できません。先進国では日本のみが石炭火力発電所新設計画を持つ国で、一つそれ

進んでいてはいます。しかし進み方が遅い。日本は2030年に再エネ導入率を36〜38%にするとしています。これは欧州諸国ですでに達成されている数字です。環境省が出しているデータですが、日本の再エネのポテンシャルが現在日本で使われている電力の2倍ほどあるとされています。それでも再エネが広がらないのは、火力発電と原発優先の国のエネルギー政策に原因があります。世界で再エネが普及している理由は気候変動対策が大きいのですが、安いから、経済的合理性があるからです。日本は再エネでなく、水素・アンモニア燃料を今ある石炭火力燃料に混ぜて使うという計画を持っています。水素とアンモニアは燃やしてもCO<sub>2</sub>が出ないので、石炭火力にアンモニアを20%混ぜたら、石炭の量が80%になるので、その分CO<sub>2</sub>が削減できると言っています。しかし水素やアンモニアは実は化石燃料で

### 安全対策で 原発はコスト高

—安全対策をしなければ、原発は安いかもしれませんが、原発のコストは大部分が安全対策に使われていて、福島事故後、世界中で安全基準が引き上げられたので、ますます高くなっています。それに原発はコストが高い。安全対策をしなければ、原発は安いかもしれませんが、原発のコストは大部分が安全対策に使われていて、福島事故後、世界中で安全基準が引き上げられたので、ますます高くなっています。それに原発はコストが高い。安全対策をしなければ、原発は安いかもしれませんが、原発のコストは大部分が安全対策に使われていて、福島事故後、世界中で安全基準が引き上げられたので、ますます高くなっています。

### 安全対策で 原発はコスト高

—安全対策をしなければ、原発は安いかもしれませんが、原発のコストは大部分が安全対策に使われていて、福島事故後、世界中で安全基準が引き上げられたので、ますます高くなっています。それに原発はコストが高い。安全対策をしなければ、原発は安いかもしれませんが、原発のコストは大部分が安全対策に使われていて、福島事故後、世界中で安全基準が引き上げられたので、ますます高くなっています。

—安全対策をしなければ、原発は安いかもしれませんが、原発のコストは大部分が安全対策に使われていて、福島事故後、世界中で安全基準が引き上げられたので、ますます高くなっています。それに原発はコストが高い。安全対策をしなければ、原発は安いかもしれませんが、原発のコストは大部分が安全対策に使われていて、福島事故後、世界中で安全基準が引き上げられたので、ますます高くなっています。

—安全対策をしなければ、原発は安いかもしれませんが、原発のコストは大部分が安全対策に使われていて、福島事故後、世界中で安全基準が引き上げられたので、ますます高くなっています。それに原発はコストが高い。安全対策をしなければ、原発は安いかもしれませんが、原発のコストは大部分が安全対策に使われていて、福島事故後、世界中で安全基準が引き上げられたので、ますます高くなっています。